2014年度Ｎｏ・５

園報せいあい

発行;社会福祉法人聖愛保育園
湯布院町川上2990-14/TEL84-2317
園　長　　小森　一典

８月　主　題　「 平和への願い 」

『19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた（８月中心聖句）。20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」』

新約聖書　ヨハネによる福音書　２０章１９～２３節

「 神さまの平安の中で 」

まだまだ暑さの残る夏の終わり、子ども達はそれぞれ夏の間に色々な体験をし、思い出深い毎日を送られてきたことと思います。特に今年は、新園舎改築事業に伴い、長く住み慣れた園舎から仮設園舎への引越しを終え、子ども達にとっても記憶に残る夏の季節を過ごされたことでしょう。

引越し作業の折には、多くの保護者の方々よりご協力、ご支援頂き、この紙面を通して、改めて心より感謝申し上げます。

さて、夏の間に色々な体験をした子ども達は、その経験を通して心身ともに豊かな成長をし、園生活においても、一人ひとりの経験が集団遊びにも素晴らしい影響を与えます。そのような関わりの中で、子ども達自身、自尊心（※１）が育まれ、自己を肯定する生き方が芽生えていくのです。

明治から昭和の時代にかけて、優れた作品を手がけた小説家に武者小路 実篤（むしゃのこうじ さねあつ、※２）と言う人がいます。彼の代表的な名言の一つに**「君は君　我（われ）は我、されど仲良き」**という諺（ことわざ）があります。これは、互いに相手を尊重した上で、各自も尊重できれば、良い関係を築くことが出来るだろう、と言う意味です。乳幼児期の子ども達の成長過程を考えると、特に幼い時から、**「我は我」**と言った言葉に表現されるような自己感覚を身に着け、養うことは非常に大切なことだ、と言われます。

つまり、自分の価値基準を自分で形作ることが出来るようになる、と言うことです。そうでないと人間は、いつまで経っても、自信を持って安定した生活を送るが出来ません。

例えば、他人と比べて、「自分は駄目だ」といった緊張が続いてしまうと心身ともに疲れ果て、前向きな人生を歩むことは非常に難しいでしょう。あるいは「良い子」と言われる周りの価値基準のイメージに取りつかれて、無理して良い子になろうとすれば、これはこれでまた疲れ果て、子どもは無気力になったり、反抗的になったりする場合も少なくありません。その理由は、多くの子どもは、全ての点で「良い子」になることは不可能だからです。

このような意味で、子どもの健やかな成長を見届けて行くためには、子どもを他者と比べて評価する相対的評価などを出来るだけ避けて、その子ども自身の良さ、素晴らしさを認め励まし続けて行くことであります。

また自分に自信がなく劣等感を持って育つ子どもでも、周りの素晴らしい人間関係や楽しい家庭生活があると、そこが心の故郷（ふるさと）となり、自分の足りなさに耐えて行くことが出来ます。

ハンディキャップのある子どもでも、親に見守られ、先生や友達に支えられていると、自分のハンディキャップについても自分なりの評価が出来るようになります。そのためにも、一人ひとりが自分の心の故郷を持っていることが大切となってくるのです。

だからこそ、子どもには、色々な場面で、やれば出来るようになると言う希望を持たせ、また自分には出来ないこともあると言うことを謙虚に考えさせ、自分の価値基準に合わせて、向上したいと言う実感が湧くような体験をさせることが何よりも大切です。

今月の聖書のみ言葉に、イエス様が弟子たちに向かって**「あなたがたに平和があるように」**と言われています。この「平和」と言う言葉には、いつも神さまの愛に守られて、安心して生きることが出来るように、と言う意味が込められています。

子ども達が保育園で過ごす時に、神さまの暖かい眼差しの中で安心して過ごすことが出来るように、と私は願って止みません。子ども達の心の奥底には、聖愛保育園で過ごした一日一日が、きっと心の故郷のように思い出して下さる時が来ることを信じています。そのような心の故郷を感じることが出来るのは、この園には神さまの愛が、いつも子ども達の心の中に豊かに注がれているからです。

この園で過ごし、神さまやイエス様の愛に触れながら、子ども達自身が、自分を受け入れ、自尊心を持ち、そして、人をも尊敬し仲良く生きようとする心の基礎が築かれていくことを私はいつも願っています。

（※１）　自尊心…自分の人格を大切にする気持ち。また、自分の思想や言動などに自信をもち、他者との関わり豊かに形成すること。

（※２）　武者小路 実篤…１８８５（明治１８年）～１９７６（昭和５１年）年、小説家・詩人・劇作家・画家として活躍される。

行 事 予 定

- ●　９月　３日（水）英会話（ゆり組、すずらん組）
- ●　９月　４日（木）合同礼拝（以上児クラス）
- ●　９月１７日（水）英会話（すずらん組）
- ●　９月１８日（木）避難訓練
- ●　９月２５日（木）合同礼拝／誕生日会
- ◎１０月　２日（木）合同礼拝（以上児クラス）
- ◎１０月　８日（水）英会話（ゆり組、すずらん組）
- ◎１０月１６日（木）**秋のふれ合いバス遠足…場　所：アフリカンサファリ**　　後日、案内致します。
- ◎１０月２２日（水）英会話（ゆり組、すずらん組）
- ◎１０月３０日（木）合同礼拝／誕生日会

※　保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。

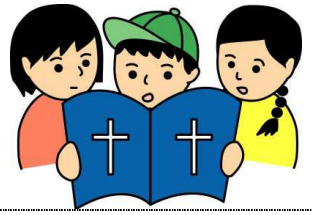
お 知 ら せ

☆　新しいお友だちを紹介します。宜しくお願い致します。

・　すみれ組　　松本　紗英（まつもと　さえ）ちゃん

☆　湯布院町内各教育機関において、人権教育総合事業「ステップ勇気づけ」の取り組みがなされています。今年度が最後の一年となりました。「ステップ勇気づけ」の啓蒙活動として、本園でも保護者の方々に、書物の貸出しを行っています。玄関に書物を置いていますので、貸出しを希望される方は、各クラス担任までお知らせ下さい。

☆　毎週日曜日、午前９時から９時３０分まで子ども達の教会学校を行っています。
静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。関心のある方は、小森 牧師か利光 先生までご連絡下さい。
９月７日（日）より再開します。



ennpou Seiai（２０１４・８・２８）